



# 羅臼町議会だより



# しれとこ

第1回定例議会 .....	2~3
条例改正・意見書 .....	4
一般質問 .....	5~8
Zoom up! (第2回議会報告会) .....	9
予算審査特別委員会報告 .....	10~11

平成28年

第**148**号

4月25日



入学式を終えて

平成28年

# 第1回定例議会

去る3月9日・10日・16日、平成28年第1回定例議会が行われ、専決処分・補正予算及び平成28年度予算などが審議され、全て原案通り可決した。

※数字は万円以下四捨五入

専決  
処分

## 平成27年度目梨郡羅臼町一般会計補正予算

補正額 **4,500** 万円

土木費 町道維持補修及び除雪に要する経費 4,500万円

一般  
会計

## 平成27年度目梨郡羅臼町一般会計補正予算

補正額 **472** 万円

議会費	議会議員に要する経費	16万円
総務費	庁舎管理に要する経費	△80万円
	消防事務組合負担金	69万円
	知床・羅臼まちづくり基金積立金	230万円
	町有バスに要する経費	115万円
	町営住宅等長寿命化工事	1,100万円
	ふるさと納税に要する経費	345万円
	防犯灯に要する経費	△69万円
	その他電算システム等運用に要する経費	3,052万円
	町税還付金	30万円
	民生費	年金生活者等支援臨時福祉給付金に要する経費
介護・福祉空間等施設整備補助金		121万円
重度心身障がい者医療扶助費		105万円
介護保険事業特別会計繰出金		△69万円
児童手当等支給に要する経費		△500万円
衛生費	子ども・子育て支援に要する経費	21万円
	水道事業会計繰出金	4,313万円
	国民健康保険診療所事業特別会計繰出金	△4,857万円
	合併処理浄化槽設置整備事業助成金	△490万円
	根室北部衛生組合負担金	△929万円
	根室北部廃棄物処理広域連合負担金	△120万円
	水産系廃棄物処理施設堆肥選別機更新工事	281万円

農林水産業費	道営草地整備改良事業負担金	△195万円
	北方領土隣接地域振興等事業に要する経費	△300万円
	漁港整備に要する経費	△2,001万円
商工費	世界自然遺産保護管理に要する経費	△102万円
教育費	中学校の建設に要する経費	△694万円
	社会教育委員に要する経費	10万円
	その他スポーツ振興に要する経費	3万円
	給食供給に要する経費	△72万円
	給食センター管理運営に要する経費	90万円
職員費	職員給与費	△108万円

### 平成27年度目梨郡羅臼町国民健康保険事業特別会計補正予算

補正額 **3,116** 万円

保健事業費	保健事業に要する経費	58万円
保険給付費	一般被保険者高額療養費	377万円
共同事業拠出金	高額医療費共同事業医療費拠出金	△960万円
	保険財政共同安定化事業拠出金	△1,215万円
諸支出金	国民健康保険診療所事業特別会計繰出金	4,857万円

### 平成27年度目梨郡羅臼町介護保険事業特別会計補正予算

補正額 **△609** 万円

総務費	介護保険業務に要する経費	28万円
保険給付費	介護サービス等給付に要する経費	△200万円
	介護予防サービス等給付に要する経費	△500万円
	高額介護サービスに要する経費	100万円
地域支援事業費	配食サービスによる安否確認事業に要する経費	△66万円
職員費	職員給与等	28万円

### 平成27年度目梨郡羅臼町一般会計補正予算（追加）

補正額 **1,725** 万円

総務費	知床・羅臼まちづくり基金積立金	289万円
	ふるさと納税に要する経費	435万円
土木費	町道維持補修及び除雪に要する経費	1,000万円

## 条例制定・条例改正

- ・ 羅臼町町税条例等の一部を改正する条例
- ・ 羅臼町課設置条例の一部を改正する条例
- ・ 羅臼町行政不服審査会条例
- ・ 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- ・ 羅臼町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例
- ・ 羅臼町職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- ・ 羅臼町議会議員の議員報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例
- ・ 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ・ 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ・ 職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例
- ・ 羅臼町証明手数料徴収条例の一部を改正する条例
- ・ 羅臼町医療技術者修学資金条例の一部を改正する条例
- ・ 羅臼町立幼稚園設置条例の一部を改正する条例

## 公の施設に係る指定管理者の指定について

- 〈名 称〉 羅臼町民体育館  
 〈指定管理者〉 NPO法人 羅臼スポーツクラブらいず  
 〈指 定期間〉 平成31年3月31日まで

## 総合計画等の策定

- ・ 羅臼町第七期総合計画（基本構想）の策定について  
 〈計画の期間〉 平成28年度～平成35年度 8年計画
- ・ 羅臼町過疎地域自立促進市町村計画の策定について  
 〈計画の期間〉 平成28年度～平成32年度 5年計画

## 人事案件

- 根室町村等公平委員会委員の同意  
 〈住 所〉 別海町別海川上町  
 〈氏 名〉 下川原 洋氏

## 意見書

教職員定数の削減に反対する意見書

## 行政報告

平成27年国勢調査の速報について  
 前回調査（平成22年）から比べ、人口では8%の減少。世帯数では、3.5%の減少となった。

# 行政の考えを問う

4人の議員による7件の質問がなされました。

平成28年

第1回定例議会

## 一般質問

高島議員

### 漁業の振興について

町長 将来の「羅臼の漁業」を担う後継者の育成が重要課題。

高島 讓二議員



#### 質問

平成二十八年度町長行政執行方針において漁業を取り巻く環境の悪化、鮮魚取扱高が百億円を下回り依然厳しい状況にある。と述べられております。

一昨行われた「まちづくりアンケート」においては七割の人々が「漁業の振興に力を注ぐべき」を挙げ、漁業の低迷は町民のメインド、町の経済などまちづくりにおいて大変影響が大き

いと考えます。

まちづくりの中心的基盤としての漁業を漁協とともに振興策を考え、推進すべきと思います。

① 資源の状況と低迷の現状について

② 今後の対策について

③ 安定的な漁業の確立について

④ 明るい漁業となるための展望について

⑤ 六次産業化への取り組みについてお聞きします。

① ホッケはここ数年極端な不漁にあり、刺し網漁業については厳しい状況が続いている。資源の減少の要因はロシアトロール船があげられる。

湊屋 町長

② 漁協が格差是正により刺し網漁業で減船となった

③ 資源の管理体制の確立と栽培漁業を推進する。

④ 漁業経営基盤強化の取り組み支援と将来の「羅臼の漁業」を担う後継者の育成が重要課題と考える。

⑤ 羅臼ブランドの販路拡大に向け「知床らうすブランド運営委員会」を設立し、特産品のPRや販路促進を図る。

⑥ 資源の管理体制の確立と栽培漁業を推進する。

⑦ 漁業経営基盤強化の取り組み支援と将来の「羅臼の漁業」を担う後継者の育成が重要課題と考える。

⑧ 羅臼ブランドの販路拡大に向け「知床らうすブランド運営委員会」を設立し、特産品のPRや販路促進を図る。

事により漁獲量の変化を見守りたい。

町としては漁協と情報を共有し、課題や資源回復に向け取り組んでいきたい。

③ 資源の管理体制の確立と栽培漁業を推進する。

④ 漁業経営基盤強化の取り組み支援と将来の「羅臼の漁業」を担う後継者の育成が重要課題と考える。

⑤ 羅臼ブランドの販路拡大に向け「知床らうすブランド運営委員会」を設立し、特産品のPRや販路促進を図る。

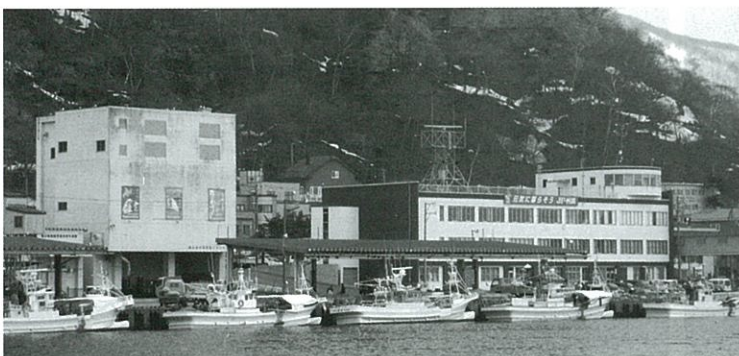
⑥ 資源の管理体制の確立と栽培漁業を推進する。

⑦ 漁業経営基盤強化の取り組み支援と将来の「羅臼の漁業」を担う後継者の育成が重要課題と考える。

⑧ 羅臼ブランドの販路拡大に向け「知床らうすブランド運営委員会」を設立し、特産品のPRや販路促進を図る。



知床らうすブランドマーク



議員 坂本  
座談会を通じて感じた事は？  
Kプロジェクト  
みは？  
新年度の取り組み

長 地域を愛する強い思いを感じた。  
町 本物指向の産業振興を！

坂本 志郎 議員



質問

各町内会単位の座談会を通じて、まちづくりに対する町民意識やニーズについて感じた事は何か。

湊屋 町長

十七町内会のうち、十三町内会の方々とお話をしました。

各会場では、産業に関する事や除雪について、役場に対する苦情、診療所の受

診に関する事、海岸保全やごみ問題、教育、空家対策、公住など多岐にわたり意見交換をしました。

各町内会において、これからの羅臼町をよくするための発展的な意見が多く地域を愛する強い思いを感じながら今後の町政運営を進めて行こうと考えています。

質問

新年度の「Kプロジェクト」の具体的取り組みの計画は。

湊屋 町長

「町内会との座談会」では、継続開催を考えているお互いの立場で悩みや将来への不安や希望など、腹を割って語り合いたい。又、

同じく町内の各種官公庁や医療福祉団体、産業団体との懇談会も開催し、その中で羅臼町の現状と課題や今後のまちづくりについて共有を図る。又、「知床らうすの未来を考えるアンダー60創造会議」では、町の木・花・スポーツについて話し合い、羅臼町の未来を六十歳以下の町民で考え、実践して行くことに「気づく」

第一歩として議論を深めていきます。具体的には「羅臼ブランド化運営委員会」を立ち上げ、羅臼町の農林水産物並びに、その加工製造品を知床らうすブランド品として認証し知名度向上を図るためのPRや販売促進を行う。又、これまで以上に道内外の旅行会社へ観光誘致やより一層のトップセールスを行い観光振興に取り組む他、きれいなまちづくりを目指します。

又、水揚げされた魚介類の地域循環や地域資源の魅力を活かした本物指向の観

光などの産業振興を図って行きます。

坂本議員その他の質問

○地域おこし協力隊の活動状況と今後の計画は

○硬直化している財政運営を打開するための自主財

源確保にむけた考え方は

○国民健康保険の安定運営のために必要な施策は

○学校教育の推進で幼稚園

一園化小学校一校化の考

え方は

○十八歳選挙権行使を円滑

に進めるための計画は

○高校教育における政治的

中立性の指導は

○高校生の政治活動参加の

保障は

ふるさと納税

羅臼にあなたの力を貸して下さい。そして、いつかあなたと羅臼であえる日を待っています。



アンダー60会議



地熱会議

議員 加藤  
「通過型観光」から「滞在型観光」への脱却について

町長 「自然」と「体験」を生かした取り組みを通じて、滞在型観光の振興を図る。

加藤 勉 議員



湊屋 町長

質問

町長の執行方針の中で、観光振興として「通過型観光」から「滞在型観光」への脱却が課題として、地域資源の魅力を活かした「本物指向への観光」と「観光協会など関係機関と連携したトップセールス」の必要性を述べられていますが、具体的取り組みについてお伺い致します。

国内外に好評の「ホエールウォッチング」や「バードウォッチング」は、今や町の観光の目玉になっている。また、全国的にも珍しい「市場の見学」や「コンブの加工体験」「ウニの殻割体験」など体験型観光として定着している。羅臼町の貴重な自然や、古くから受け継がれた産業体験など他にはない質の高いメニューを提供し「自然」と「体験」を生かし、滞在型観光に積極的に取り組んでいきます。さらに、観光協会などと連携した交流人口の増大に向けたトップセールスを行って来ました。修学旅行の誘致や旅行代理店等への訪問等、今後も継続して行きます。

質問

豊かな心を育む教育文化の町づくりについて、今後の児童数を見込み「幼稚園の一園化」と「小学校の一体化」について検討すると述べていますが、小学校一体化に伴う、旧校舎の利用方法、幼稚園一園化に伴い「認定こども園」を設置する考えはないのかお伺い致します。

湊屋 町長

少子化や子ども、子育て支援法の施行により0歳から5歳児の保育や放課後児

議員 加藤  
「幼稚園の一園化」と「小学校の一体化」について

町長  
今後の児童数の減少から一園化と一体化を検討して行く。

童クラブなど、親が子育て中に安心して働くことのできる環境作りが必要となっています。教育環境の適正化を図る上で、幼稚園の一園化と小学校の一体化を検討して行きたい。それに合わせて、町内の施設の複合化など「認定こども園」なども含め、施設の利用については、有効な活用を総合的に検討して行く必要があると考えっております。



新入学児童



修学旅行生の「つみれ汁作り」体験



北方領土学習

田中議員

## まちづくりの基本姿勢について

町長 産業を活性化させ、自立したまちづくりを目指す。

田中 良議員



### 質問

機構改革にあたり産業課まちづくり課（新設）の係り方とその役割について。

湊屋 町長

第七期総合計画をまちづくりの指針として行政運営を進めて行くことになりませんが、「産業課」は基幹産業であります漁業の他に農業、観光業、商工業など羅白町全体の産業を活性化させ、雇用の促進を図り、人

口減少対策にも結びつけられるように自立したまちを目指して参ります。新設する「まちづくり課」につきましては「Kプロジェクト」や「ふるさと納税」などの実施をまちづくり推進本部が中心となり進めてきましたが、これまで以上に充実させ、加速化させて行くには、まちづくりに特化した機能を強化させ、様々な分野で関係機関や各種団体などと調整を図り、まちづくりに結びつく具体的な取り組みを実践して行くこととなります。町の課題に対して政策を戦略的に検討する「企画振興課」と地域経済の発展を担う「産業課」、それを具体的に実践して行く「まちづくり課」が連携することにより、将来の羅白町民が「幸福」になるこ

とをイメージした「想像から創造」のまちづくりが実現できるものと考えています。

### 質問

◎地域を支える産業の活性化について特に雇用対策をどのように考えているのか

◎幸せを感じる医療・保健・福祉・介護の充実について

◎豊かな心を育む教育文化のまちを目指すことについて

## まちづくりの基本方向について

田中議員

新しい産業の創出を。

町長

湊屋 町長

一点目は、当町の雇用対策といたしまして通年雇用を目指し、新しい産業を創出することが考えられ「羅白町創業支援事業計画」を策定し認定されました。この計画は新たに創業を希望する方への支援であり、相談窓口を役場に集約し町の支援施策などを紹介しながら、関係機関と連携を深め、支援体制の強化を図ることを目的としています。

二点目は、医療・保健・福祉・介護の連携による地域包括ケアを推進するため医師や看護師等の充実は大変重要であると考えている。そのため看護師の研修派遣や移住体験モニター事業・医療技術者修学資金の貸付対象資格を拡充する条例改正を行いました。常勤医師の複数化について孝仁会と協議をして充実を図っているところであります。

三点目は、豊かな心を育む教育文化のまちを目指すことについて、特に今後の

少子化による児童数の減少による教育環境の適正化について検証し、幼稚園の一園化、小学校の一校化を子育て支援の視点も含め、町内施設の有効な活用と合わせまして、今年度から検討して参りたいと考えています。





# Zoom up!

## 第2回 議会報告会

議長 村山 修一



去る二月十九日午後二時、役場会議室に於いて第三回臨時議会（十一月二十五日）・第四回定例議会（十二月十一日）の報告会を、羅臼町女性団体連絡協議会、漁協女性部、商工会女性部、各団体の事務局の皆さんの参加を得て開催をさせて頂きました。出席頂いた皆さんにはお忙しい中、有難う御座いました。

今回の報告会は、年末年始を挟んだため若干遅れましたが、三月定例議会前に実施できてホッとしました。当日は議会運営委員長の進行のもと、総務民生、経済文教両委員長より二十七年

度補正予算・条例改正の審議内容を説明、さらに一般質問については、質問者からそれぞれ質問内容と町長の回答を簡略に説明しました。その後、二十六年度の決算報告や現在調査中の地下資源活用に係る九州視察研修の経過報告も併せて行いました。最後に参加者から質問を頂き、議員からお答えできる範囲で説明をしました。

次回報告会は四月下旬を予定しています。さらに回を重ねて、より充実した報告会になりますよう議員全員で努力して参ります。

議員報告会をご希望される団体やグループ等は、議会事務局までご連絡下さい。  
(電話：87-2180)



# 平成28年度

## 予算審査

## 特別委員会報告!!

# 各会計予算が決定

平成28年第1回定例会において予算審査特別委員会が設置され本議会休会中の3月11、14、15日の3日間にわたって慎重かつ熱心に審査が行われ、委員全員一致により原案どおり可決・決定された事が高島譲二委員長より報告された。

▶ 一般会計歳入 **41億6,901万8千円** (単位：千円)

	本年度予算額	前年度予算額	比 較
1. 町税	638,731	647,808	△9,077
2. 地方譲与税	18,700	18,500	200
3. 利子割交付金	1,500	1,400	100
4. 配当割交付金	2,500	1,311	1,189
5. 株式等譲渡所得割交付金	1,700	250	1,450
6. 地方消費税交付金	130,000	74,000	56,000
7. 自動車取得税交付金	2,800	2,200	600
8. 地方特例交付金	670	650	20
9. 地方交付税	1,939,522	1,952,484	△12,962
10. 交通安全対策特別交付金	1	1	0
11. 分担金及び負担金	39,727	40,068	△341
12. 使用料及び手数料	129,026	136,947	△7,921
13. 国庫支出金	241,768	161,580	80,188
14. 道支出金	119,087	111,987	7,100
15. 財産収入	15,720	14,895	825
16. 寄附金	248,134	22,117	226,017
17. 繰入金	294,099	53,309	240,790
18. 繰越金	1	1	0
19. 諸収入	22,063	35,631	△13,568
20. 町債	323,269	290,490	32,779
歳入合計	4,169,018	3,565,629	603,389

▶ 一般会計歳出 **41億6,901万8千円** (単位：千円)

	本年度予算額	前年度予算額	比較
1. 議会費	36,913	40,425	△3,512
2. 総務費	850,171	682,558	167,613
3. 民生費	525,471	423,701	101,770
4. 衛生費	663,037	598,735	64,302
5. 農林水産業費	70,326	77,055	△6,729
6. 商工費	83,620	67,626	15,994
7. 土木費	100,035	80,995	19,040
8. 教育費	615,356	309,310	306,046
9. 公債費	383,423	402,404	△18,981
10. 職員費	820,666	862,820	△42,154
11. 予備費	20,000	20,000	0
歳出合計	4,169,018	3,565,629	603,389

▶ 特別会計〈歳入・歳出〉 (単位：千円)

	本年度予算額	前年度予算額	比較
国民健康保険事業	1,009,481	1,190,970	△181,489
介護保険事業	422,675	420,382	2,293
後期高齢者医療事業	64,102	67,312	△3,210
国民健康保険診療所	172,290	134,086	38,204

▶ 水道事業会計〈収入・支出〉 (単位：千円)

	本年度収入予定額	本年度支出予定額	資金期末残高
水道事業会計	267,133	257,930	9,203

予算審議総括

◆ 財政調整基金より一億八千万円取り崩しているが、今後の財政は大丈夫か。圏産業活性化や行財政改革を行う。

◆ 水道会計に八千六百万円繰入れしているが先々、財政はどうなっていくのか。

圏平成三十五年度まで償還金額が大きく、それまでは繰入れが必要と考える。

◆ 経費削減のなか、指定管理者、補助団体への委託料、補助金が増額されているが。

圏人件費が増額となっているが、今後は委託料について検討する。出向職員の代わりに人員を増やした。

◆ 幼稚園の一園化、小学校の一体化の検討は時期尚早ではないか。

圏人口減少に伴い、早く検討に入らなければならないと考える。

## 議会の動き

### 1月

- 26日 町長・議会議長と商工会正副会長が新年を迎え語り合う会 議長
- 28日 議会だより編集特別委員会
- 29日 羅臼建設業協会平成28年度新年交礼会 議長・経済文教常任委員長  
議会だより編集特別委員会

### 2月

- 5日 議会だより編集特別委員会
- 12日 議会運営委員会  
全員協議会
- 19日 議会報告会  
全員協議会
- 29日 行政懇談会

### 3月

- 2日 議会運営委員会  
経済文教常任委員会
- 3日 総務民生常任委員会
- 4日 根室北部消防事務組合議会定例会 (中標津町) 正・副議長ほか  
根室北部廃棄物処理広域連合議会定例会 (中標津町) 正・副議長ほか  
根室北部衛生組合議会定例会 (中標津町) 正・副議長ほか
- 7日 議会運営委員会
- 9日 第1回定例議会 (1日目)
- 10日 第1回定例議会 (2日目)
- 11日 予算審査特別委員会 (1回目)
- 14日 予算審査特別委員会 (2回目)
- 15日 予算審査特別委員会 (3回目)
- 16日 第1回定例議会 (3日目)  
議会運営委員会
- 22日 全員協議会
- 30日 議会だより編集特別委員会

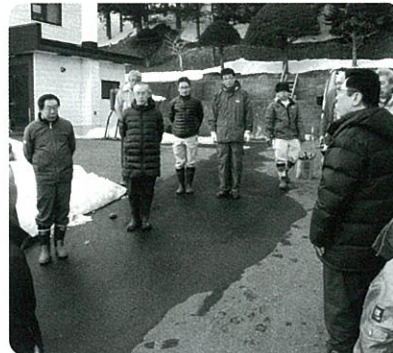
### 4月

- 8日 平成28年度北海道羅臼高等学校入学式 議長
- 14日 議会運営委員会  
全員協議会  
議会だより編集特別委員会
- 19日 議会報告会
- 20日 平成28年度北方領土復帰期成同盟根室地方支部通常総会 (根室市) 議長
- 22日 根室町村議会議長会定期総会 (中標津町) 正・副議長

## ゴミのポイ捨て



## 禁止!!



雪解けとともに目立って来たのは道端に散乱している空き缶、ペットボトル、タバコの吸い殻等々のポイ捨てゴミだった。



町長の呼びかけで町長、議長はじめ議員と職員とで特にゴミの散乱が目立つソスケの国道沿いのゴミを拾った。

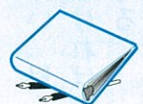


世界自然遺産の羅臼町町民としては、くれぐれもゴミのポイ捨てをしないようお願いしたいものである。



がよいといいですね)  
第一回定例議会も終わり、皆様に議会の動きをお知らせしますが、今後とも議会だより編集特別委員会の四名で町民皆様に親しまれる紙面づくりに努めて参ります。(お声もお寄せ下さい)お待ちしております)

編集を終えて



いよいよ春の漁期も始まりましたが、今年も流水が

羅臼前浜海域に遅く姿を現し、今までで一番遅いのはと皆さん口々に言っています。もう養殖昆布を浮かべ、作業を早めに行おうと考えた方々も多かったのではないかと思いますがいかがだったでしょうか。(流水が遅い分、昆布等の生育